

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門基礎	運動・皮膚機能障害	1	20	2年次 前期	京都第二赤十字病院 医師 理学療法士

テキスト(発行所)	運動機能障害—運動器(医学書院) 運動機能障害(リハビリテーション)プリント配布 皮膚機能障害—皮膚(医学書院)
-----------	--

学習目標	人間の基本的な機能である、運動機能・皮膚機能が障害された状態の診断、検査、 症状、治療、処置等について理解する。 これらの機能障害が人間の生活に及ぼす影響を考える。
------	--

学習スケジュール			
単元	回数	主題	履修形態 他
運動 機能障害	1回	運動器の構造と機能・症状と病態生理能	整形外科医師 講義
	2回	運動器の診断・検査・処置	
	3回	神経損傷・先天性疾患・骨腫瘍	
	4回	脊椎の疾患・下肢および下肢帯の疾患	
	5回	ギプス・シーネ演習	
運動 機能障害 (リハビリ テーショ ン)	1回	リハビリテーションの流れ・評価	リハビリテーション科 理学療法士 講義 (45分×4回授業)
	2回	問題点に対するリハビリプログラム	
	3回	ADL・歩行トレーニング	
	4回	リハビリテーションの適応と禁忌	
皮膚 機能障害	1回	皮膚の構造と機能 原発疹・続発疹・表在性皮膚疾患	皮膚科医師 講義
	2回	真皮、皮下組織の皮膚疾患・皮膚腫瘍・熱傷・褥瘡	
	3回	微生物による皮膚疾患・爪疥癬の治療	
単位認定 の方法	1. 20時間のうち、16時間以上の出席があること 2. 計100点満点の試験を行なう。合わせて60点以上で合格とする。		
注意事項	解剖生理を復習して講義に臨むこと。		